

携帯型飛沫対策ボード

マツタ紙工業 近畿大学生とコラボ

【東大阪】
マツタ紙工業
(大阪府東大
阪市、松田和人社長、
06・6728・85
01)は23日、近畿大
学経営学部の文能照之
教授のゼミと共同開発
した携帯型飛沫対策ボ
ード「ファイルDeガ
ード」写真」を発売す
る。再生紙を使用した
段ボール製。幅24センチ

高さ42センチのサイズに
折り畳んで持ち運べ、机の上で、幅を約4倍
に広げ、つ
いたてのよ
うに立てら
れる。
価格は1
個990円
(消費税込
み)。同社
ウェブサイ
トやイオン
スタイル幕



張新都心(千葉市美浜
区)などで販売する。
若者の間で新型コロナ
ウイルス感染が広が
る中「学生が持ち運べ
る対策品を作ってほし
い」という保護者の要
望から開発した。重さ
は175グラム。学生の発
案で資料を挟めるファ
イル機能を付けた。内
側に付箋を貼り付ける
など自習にも役立つ。
同社の松田社長は
「若者向けに開発した
が、軽量で設置も簡単
なので大人も使っても
らいたい」と話した。

飛沫ガード兼書類ケース

近大発グッズ きょう発売



近畿大とマツタ紙工業が共同開発した「ファイルDeガード」(近畿大提供)

新型コロナウイルスの飛沫防止にもなるファイルケースが23日、ネット通販サイト「アマゾン」や流通大手「イオン」の店頭などで発売される。近畿大(東大阪)が、段ボール製品製造のマツタ紙工業(同市)と共同開発した製品。「ファイルDeガード」と名付けた。

段ボールの再生紙素材でできており、175グラムと軽量。高さ42センチ、幅24センチで、折りたためばカバンに入れて持ち運べる。A4用紙などの書類を収納できるファイルケースになるだ

けでなく、卓上に広げれば、友人らとの会食時などにパーテーションとして使える。学生やビジネスマンの需要もあると想定している。
近大経営学部の文能照之教授(57)のゼミ生3人のアイデアを生かし具現化した。

21日にオンライン会見したマツタ紙工業の松田和人社長(57)は「経済を動かしながら、感染対策に役立つものができないかと考えたい」と説明。アイデアを出した近大3年の山崎舞さん(21)は「初めての製品開発

で何が正解がわからない中で、貴重な経験になった」と話した。
販売価格は税込み990円。